

きやまぐち

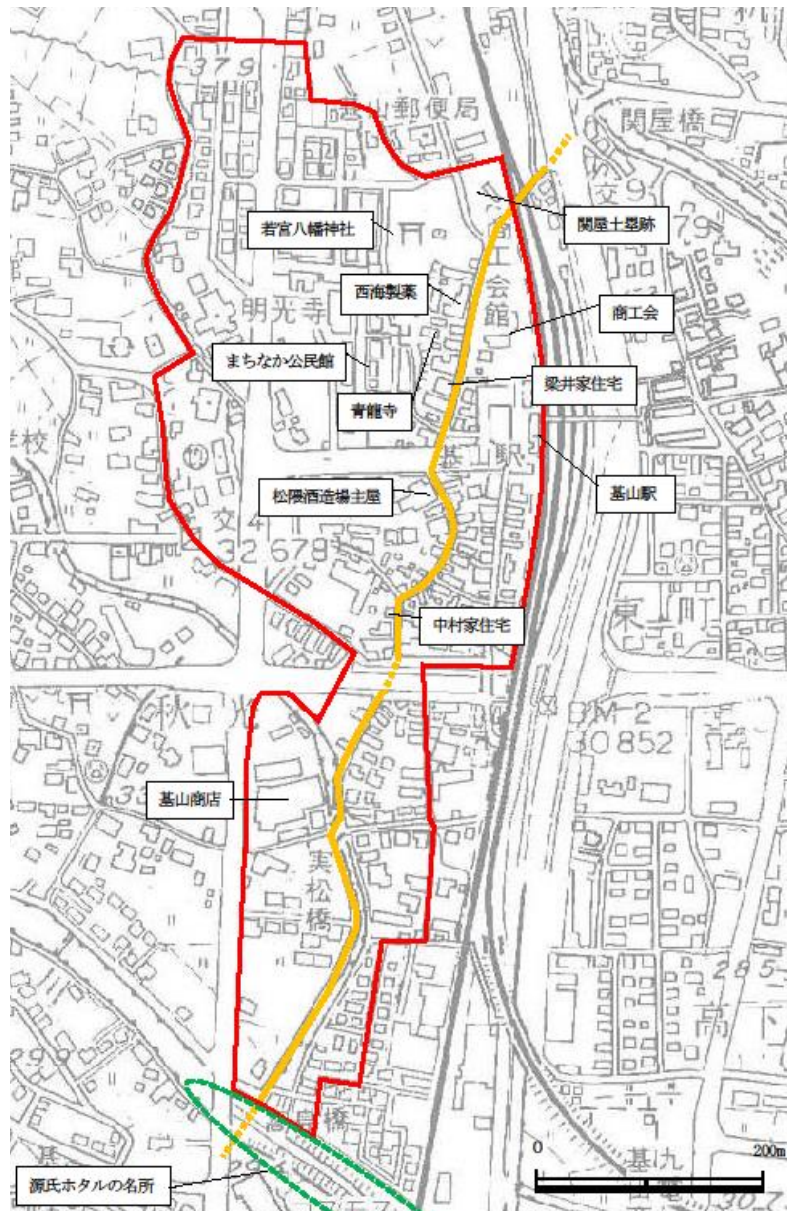
(1) はじめに

「木山口町まちづくり協議会（以下、協議会）」は、『基山町歴史的風致維持向上計画』が国の認定（平成31年1月24日認定）を受けたことを契機とし、長崎街道沿いの町場として栄えた木山口町の歴史まちづくりを官民協働で推進していくことを目指し、令和2年7月29日（水）に地元関係者で組織されました。（地元の主な団体や区からの推薦により6名の会員と2名のオブザーバーにより組織されています。）

令和3年度と令和4年度は、コロナ禍にあって、コロナ感染症対策の徹底を図り、勉強会や現地視察等に取り組んできました。これから協議会の活動内容や歴史まちづくりの概要をご紹介します。



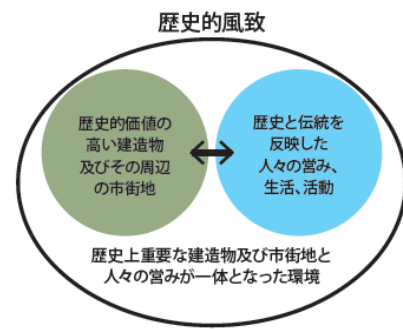
勉強会（令和3年9月29日）



木山口町まちづくり協議会の事業範囲

『基山町歴史的風致維持向上計画』とは

この計画は、『地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称、歴史まちづくり法）』に基づく、法定計画です。歴史的な建造物と歴史・伝統を反映した人々の活動等で構成される歴史的風致の維持向上を図るものです。詳しくは、教育学習課にお問い合わせいただくか、町のホームページをご覧ください。



（２）木山口町における歴史まちづくりの報告

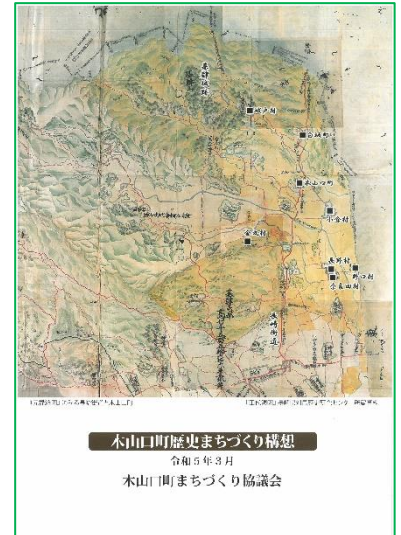
『基山町歴史的風致維持向上計画』に基づき、令和４年度に実施された木山口町における歴史まちづくりの概要をご報告します。

『木山口町歴史まちづくり構想』の検討・策定

協議会では、木山口町の歴史まちづくりを官民協働で推進していくことを目指し、『木山口町まちづくり構想』を検討・策定しました。印刷し、木山口町の皆さんに配布する予定です。是非、ご一読をお願いします。

『木山口町まちづくり構想』の概要

- 1.木山口町まちづくり協議会
- 2.長崎街道と木山口町の概要
- 3.木山口町に所在する築 50 年以上の主な建造物
- 4.木山口町で 50 年以上続く主な活動
- 5.木山口町における歴史まちづくり事業（計画）
- 6.木山口町の歴史まちづくり



まちづくり構想

修景助成基準案の検討

協議会では、長崎街道沿いの町並みの連続性や一体感を高めるため、街道沿いに所在する歴史的建造物の特徴を探る調査や他都市事例等を踏まえ、歴史的建造物以外の建築物や工作物の修景に対して町が補助金交付を行うための修景助成基準の検討に取り組んできました。令和５年度も検討を重ねていく予定です。（※歴史的建造物の特徴を探る調査の概要は、最終頁の「（４）」で紹介しています。）



歴史的建造物の特徴を探る調査の様子

（３）木山口町以外での歴史まちづくりの紹介

基山町で取り組まれている歴史まちづくりは、木山口町ばかりではありません。ここでは、木山口町まちづくり協議会以外で取り組まれている歴史まちづくりの一部をご紹介します。

歴史的風致形成建造物である基山商店（酒造蔵）の調査

基山商店については、令和２年度に主屋・精米所の建物調査、令和３年度には酒造蔵の建物調査が行われました。

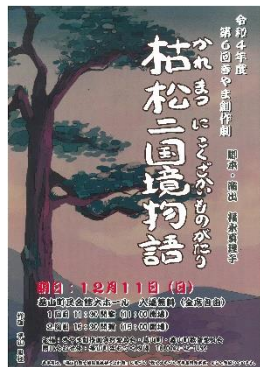
調査の結果、建物構造や増改築の変遷などが把握されています。



基山商店（酒造蔵）

きやま創作劇の開催

基山町の文化遺産情報を活用して、町民の意識の中にある歴史と文化を定着させるため、町民による「きやま創作劇」を毎年行っています。



基肄城南門跡地の広場整備

基肄城南門跡地に、地域住民が集える憩いの場、来訪者の休憩所に供するため小公園の整備が行われました。



住吉神社の保存修理

豪雨災害により毀損した住吉神社の修理復旧が行われました。



歴史のまち案内サインの設置

基肄城跡をはじめ町内の歴史的建造物などへ来訪者を誘導するサインが設置されました。



大興善寺本堂の保存修理

大興善寺本堂の保存修理に対して、町が補助し、屋根の葺替え工事が実施されました。



図書館郷土資料コーナーでの展示

御神幸祭・園部くんちの各芸能の奉納行事等を紹介するパネル展示が行われました。



基肄城跡保存整備

災害復旧事業として水門取水部の災害復旧工事が行われました。

基山周辺環境整備事業

草スキー場前面広場の整備を行っています。

御神幸祭の道的美装化

町道荒穂神社線などの美装化を行っています。

文化遺産記録作成

梁井家文書の基礎整理を通して基肄城周辺の文化遺産調査を行っています。

（４）木山口町の歴史的建造物の特徴 ～修景助成基準の検討に向けて～

崎街道沿いに残る歴史的建造物は街道に面して建物が配され、狐格子の破風、入母屋屋根、下屋
庇、格子、縦板張等が特徴的です。

協議会では、こうした歴史的建造物の特徴を参考とし、修景助成基準の検討に取り組んでいます。



歴史的建造物の特徴（事例：基山商店の主屋）

修景助成基準とは、歴史的建造物と一体となって良好な景観を形成する又は形成する見込みのある建築物や工作物の修景に対して所有者が負担する経費の一部を町が補助するにあたって、その拠りどころとしての役割を担うものです。

修景助成は、令和6年度のスタートが予定されています。

地域の誇りとなる長崎街道の町並み形成に向けて、皆様のご理解とご協力をお願いします。

きやまぐち Vol.3

【編集・発行】 木山口町まちづくり協議会
【事務局】 基山町教育委員会教育学習課ふるさと歴史のまち推進係内
【発行日】 令和5年3月22日